

赤羽新太郎 教授 履歴・業績

赤羽新太郎 教授 履歴・業績

履 歴

昭和24年11月23日生まれ

〔学 歴〕

昭和47年 3 月	日本大学経済学部産業経営学科卒業
昭和47年 4 月	日本大学大学院経済学研究科修士課程入学
昭和49年 3 月	日本大学大学院経済学研究科修士課程修了
昭和50年 9 月～51年 8 月	California State College 留学
昭和52年 4 月	明治大学大学院商学研究科修士課程入学
昭和54年 3 月	明治大学大学院商学研究科修士課程修了
昭和55年 4 月	明治大学大学院商学研究科博士課程入学
昭和58年 3 月	明治大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学
平成17年 1 月	学位取得：博士（経営学）（明治大学）

〔職 歴〕

昭和49年 4 月	日系マグローヒル（株）
昭和56年 4 月	（学）目白学園高等学校
昭和58年 7 月	上武大学非常勤講師
昭和59年 4 月	工学院大学非常勤講師
昭和60年 4 月	専修大学商学部講師
昭和62年 4 月	専修大学商学部助教授
平成 6 年 4 月	専修大学商学部教授

〔研究分野〕

経営学（経営学，国際経営論）

〔研究テーマ〕

現代国際経営者論

〔所属学会〕

AIB
日本経営学会
比較経営学会
JAIB
工業経営研究学会

主要業績

〔学術論文〕

「財政政策とインフレーション」(日本大学 修士論文)	1974年 3 月
「国際経営管理論序説」(明治大学 修士論文)	1979年 3 月
「国際比較経営管理論に関する方法論的一考察」『明治大学大学院紀要 第18集(2)』	1981年 3 月
「多国籍企業の経営戦略の関する一考察」『明治大学大学院紀要 第19集(2)』	1982年 2 月
「多国籍企業の管理組織に関する一考察」『明治大学大学院紀要 第20集(2)』	1983年 2 月
「多国籍企業の内部組織間関係に関する一考察」『明治大学大学院紀要 第22集(2)』	1985年 2 月
「多国籍企業の内部組織間関係の動態的視野に関する一考察 —— Laurent Leksell の組織構造動態論を中心として —— 」『専修商学論集 第41号』	1986年 2 月
「国際経営の内部組織間関係のコントロールに関する一考察 —— Laurent Leksell 所説を中心として —— 」『専修商学論集 第42号』	1986年10月
「多国籍企業の管理組織のコントロール戦略について」『経営学論集 第58集』	1988年 9 月
「1980年代における現代日本企業の国際化に関する一考察」『専修大学社会科学研修所月報 No.328』	1990年11月
「現代日本企業の国際化と「日本的経営」について」『商学研究年報 第16号』	1991年 3 月
「現代日本企業の本格的国際化とマイクロ・エレクトロニクス革命に関する一考察」 『専修大学社会科学研修所月報 No.339』	1991年 9 月
「現代日本企業の国際化の最先端をゆく半導体産業に関する一考察」 『専修大学商学研究年報 第17号』	1992年 3 月
「現代の半導体世界市場をリードする日本半導体産業の国際化に関する一考察」 『専修大学経営研究所所報 No.102』	1992年 8 月
「1980年代における国際経営論の展開に関する一考察 —— Y. ドーズ (Yves L.Doiz), C. プラハラド (C.K.Prahalad) の所説に関して —— 」『専修商学論集 第55号』	1993年 2 月
「国際経営論の新展開に関する一考察」『専修大学商学研究年報 第18号』	1993年 3 月
「国際経営管理論の展開に関する一考察」『専修大学商学研究年報 第92号』	1993年 6 月
「国際経営論の研究領域に関する一考察」『専修大学経営研究所年報 No.18』	1994年 3 月
「日本の自動車部品メーカーの国際経営環境状態」『専修大学商学研究年報』	1994年 9 月
「日本半導体産業の国際競争力について」『経営分析研究』	1995年 3 月
「中国的国際経営環境」『商学研究年報 第21号』	1996年 3 月
「International Macro —— Business Structure of China —— 」『専修大学商学研究年報』	1997年 3 月
「アジアの経済発展と日本企業の影響力」『工業経営研究 第14巻』	2000年 9 月
「国際経営者論の生成」『明大商業論集 第83巻第 2 号』	2001年 2 月
「国際経営競争システムに関する一考察」『専修大学商学研究年報』	2002年 3 月
「沖縄の国際化と地域開発」『専修大学商学研究年報 第28号』	2003年 3 月
「TNC のコーポレート・ガバナンスと企業倫理」『専修商学論集 第78号』	2004年 1 月
「国際企業経営者論 —— 管理組織論を中心として —— 」(明治大学 博士(経営学)論文)	2005年 1 月
「トランスナショナル企業の行動規範と企業統治」『比較経営学会誌 第29号』	2005年 3 月

- 「アメリカ企業の競争的経営者の企業倫理と企業統治」『専修商学論集 第82号』 2006年 1 月
- 「21世紀のグローバリゼーションの課題」『明治大学経営論集 Vol.57 No.4』 2010年 3 月
- 「21世紀のグローバリゼーションへの対応と課題」『専修商学論集 第93号』 2011年 7 月

〔発 表〕

- 「多国籍企業の内部組織間関係論について — Laurent Leksell の組織コントロールの理論を中心として —」
—— 日本経営学会 関東部会 —— 1986年 6 月
- 「多国籍企業の内部組織間関係論のコントロールについて — Laurent Leksell の所説を中心として —」
—— 日本経営学会 第61回大会 龍谷大学 —— 1987年 9 月
- 「現代日本企業の国際化について」 —— 企業経済研究会 —— 1990年 1 月
- 「1980年代における現代日本企業の国際化について」 —— 専修大学商学研究所 第2回特別研究会 —— 1990年 9 月
- 「IC メーカーの地域化と国際化」 —— 専修大学商学研究所 第3回特別研究会 —— 1990年11月
- 「日本半導体産業の国際競争力について」 —— 日本経営分析学会 —— 1995年 3 月
- 「中国の国際経営環境について」 —— 中華人民共和国吉林大学 東アジア経営学会 国際連合 —— 1995年 7 月
- 「アジア進出企業の経営政策と管理体制」 —— 工業経営研究会 —— 1996年 9 月
- 「統一論題 経営学における国際化問題の理論的変遷と未来展望：経営の国際化について」
—— 経営学史学会第7回大会 —— 1999年 5 月
- 「自由論題 グローバル経営の生産・技術戦略」 —— 工業経営研究学会第13回全国大会 —— 1998年10月
- 「日本企業のアジアにおける国際化」(共通論題発表) —— 工業経営研究学会創立10周年記念大会 ——
1997年10月
- 「グローバル企業の行動規範と企業倫理」(統一論題発表) —— 比較経営学会第29回全国大会 —— 2004年 5 月
- 「グローバリゼーションへの対応と課題 副題 21世紀のグローバリゼーションの新パラダイム」
(統一論題発表) —— 日本経営学会84回全国大会 —— 2010年 9 月

〔著 作〕

- 「第Ⅲ部 第14章 国際経営論の現状と課題」現代経営学研究グループ編『現代経営学の基本課題』文眞堂
1993年 5 月
- 「第Ⅲ部 第14章 国際経営論の現状と課題」中村瑞穂教授還暦記念論文編集委員会編『現代経営学の基本課題』
文眞堂 1993年 6 月
- 「第1部 国際経営管理論の基礎 第1章 国際経営管理論の生成, 第2章 国際比較経営管理論の方法論」
- 「第2部 国際経営管理過程論 第3章 多国籍企業の経営戦略論, 第4章 多国籍企業の管理組織論, 第5章
多国籍企業の内部組織間関係論, 第6章 多国籍企業の組織構造動態論, 第7章 多国籍企業の管理組」
- 「第3部 国際経営管理論の新展開 第8章 1980年代における国際経営管理論, 第9章「日本的経営」の国際
化, 第10章 日本半導体産業の国際化, 第11章 国際経営管理論の新展開」
- 『国際経営管理論序説』文眞堂 1993年 7 月
- 『現代企業の経営学』(共著) 八千代出版 1995年 3 月
- 『国際経営管理論序説』(新版) 文眞堂 1997年 3 月
- 『日本企業のアジア進出』(共著) 税務経理協会 1998年 5 月
- 「第4章 グローバル企業の生産・技術戦略」『グローバル企業の経営戦略』(共著) ミネルヴァ書房 1999年 5 月

『経営学百年 — 鳥瞰と未来展望 —』（共著）文眞堂	2000年 5 月
「11章 国際経営競争システム」『比較経営論』（共著）税務経理協会	2002年 4 月
「経営の国際化」『経営学史事典』（共著）文眞堂	2002年 6 月
「9章 多国籍企業の企業統治と企業倫理」『企業倫理と企業統治』（共著）文眞堂	2003年11月
『国際企業経営者論』文眞堂	2005年 1 月
『コーポレートガバナンスの国際比較』（共著）中央経済社	2006年 3 月
『経営の新潮流；コーポレートガバナンスと企業倫理』（共著）白桃書房	2007年 3 月
『グローバリゼーションと経営学』（共著）ミネルヴァ書房	2009年 4 月
『CSR グランド戦略』（共著）白桃書房	2009年 9 月
『経営労務辞典』（共著）晃洋書房	2011年 6 月
「21世紀のグローバリゼーションの新パラダイム」日本経営学会編『新たな経営学原理の探求 〈経営学論集第81集〉』（共著）千倉書房	2011年 9 月
「経営国際化の諸研究」『経営学史事典 第2版』（共著）文眞堂	2012年 5 月
〔その他〕	
研究ノート 「台湾の国際経営環境について」『専修大学商学研究所報』	1994年 8 月
研究ノート 「中国の国際経営環境について」『専修商学論集 第60号』	1995年10月
「中国の国際経営環境について」『平成7年科学研究費補助金研究成果報告書』	1996年 3 月
翻訳・監訳 「第7章 資本の国際化と多国籍企業」J. スコット著『株式会社と現代社会』（共訳）文眞堂	1983年 5 月
翻訳・監訳 「第4部 第10章 都市の経験」ニコラス・ヘンリー著『現代行政管理総論』（共訳）文眞堂	1986年 2 月
翻訳・監訳 「第Ⅲ部 株式会社日産自動車」スティーブ・バーネット編『日産レポート』彩流社	1994年 3 月
翻訳・監訳 「21世紀の自動車メーカーの経営戦略シナリオ」『専修大学経営研究所年報』	1994年 3 月
翻訳・監訳 「第3章 株式会社」『自動車産業のゆくえ』（共著）彩流社	1994年11月
翻訳・監訳 E. アペルバームニ, R. バート著 『ベスト・プラクティス競争戦略』（共訳）八千代出版	2004年 6 月
書評・解説等 「高橋由明・林正樹・日高克平編著『経営管理方式の国際移転 —— 可能性の現実的・ 理論的諸問題 —— 』」『比較経営学会誌 第25号』	2001年 2 月
書評・解説等 「徳重昌志・日高克平編著『グローバリゼーションと多国籍企業』」『比較経営学会誌 第29号』	2004年 3 月